

令和6年コウナゴ曳網調査結果 (第1報)

令和6年1月29日
福島県水産海洋研究センター

1 調査日

令和6年1月26日

2 調査海域

相馬海域

37-48N 線上 141-00E(水深 10m)、141-02.5E(水深 25m)
141-05E(水深 30m)、141-07.5E(水深 37m)

3 調査手法

丸稚ネット(魚捕部の目合い $335\mu\text{m}$)

水深 10m 付近(一番灘の定点は表層)を 5 分間曳網 (船速 約 2kt)

4 調査結果

(1)表面水温(図 1)

10.2°C~14.5°C

(2)コウナゴ採捕数(図 1)

コウナゴは採捕されませんでした。

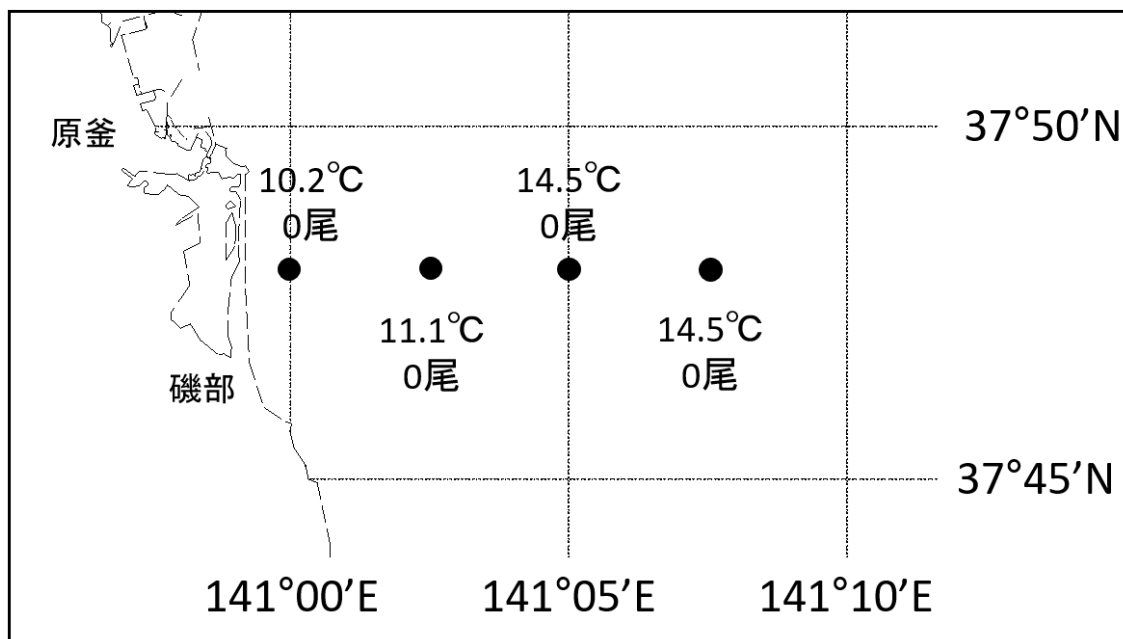


図1 コウナゴ採捕数

(3)過去の調査結果との比較(図2)

1 定点あたりのコウナゴ採捕数は平成30年以降、極めて少ない状況が続いています(図2(a))。福島県の年別コウナゴ漁獲量を図2(b)に示します。令和元年以降、漁場が形成されないことから、操業は行われていません。

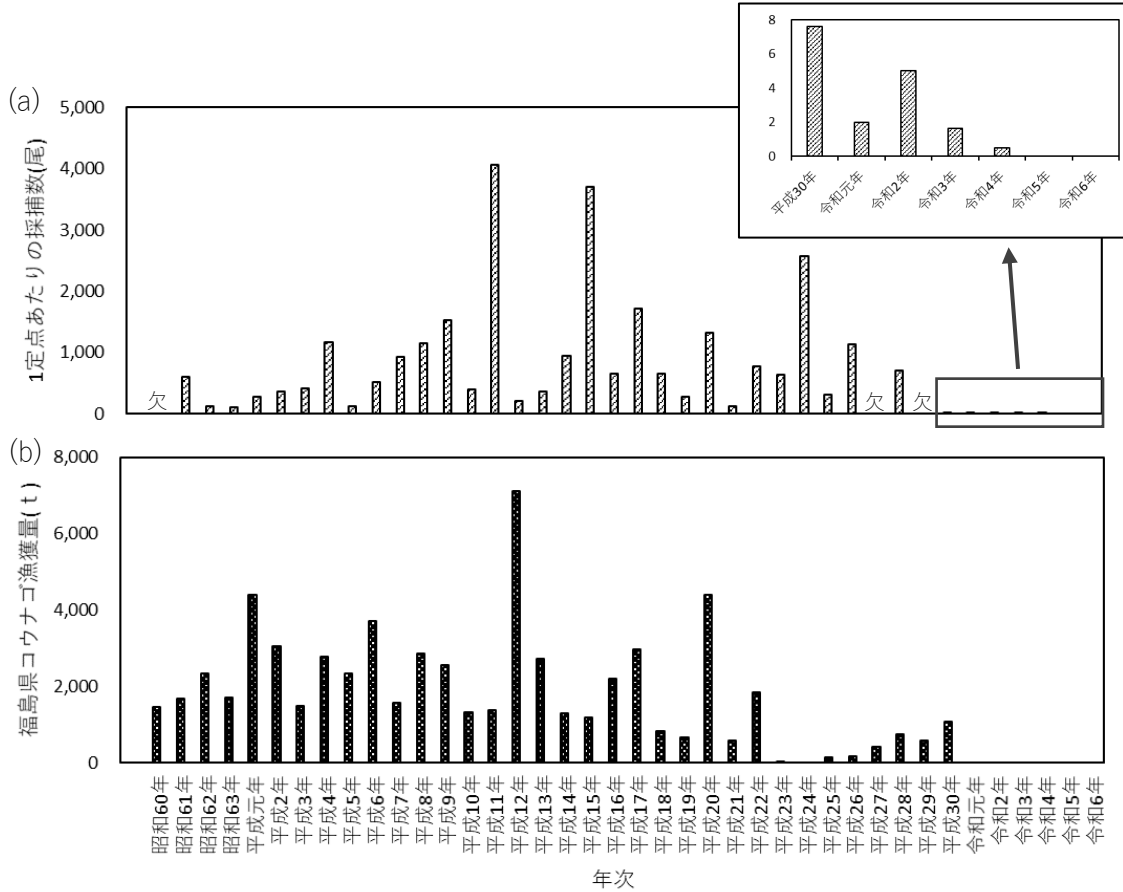


図2 (a)相馬海域における1 定点あたりの採捕数(1~2 月平均)
(b)福島県の年別コウナゴ漁獲量